

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立千寿常東小学校 校長 佐々木浩志

1 学校教育目標

- ① 進んで学ぶ子：様々な問題を解決するために多様な考えを進んでもとようとする子
- ② 心やさしい子：よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
- ③ たくましい子：困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かい努力し続ける心と体をもつ子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 14,078冊（蔵書基準冊数10,560冊）／ 蔵書率 133.3%									
	② 新規購入図書 580冊 / 廃棄図書 376冊 / 増減冊数 204冊増									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	1%	8%	6%	10%	3%	3%	6%	2%	61%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時間と中休み									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 63.4冊（前々年度末：57.62冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 84.6%（前々年度末：94.6%）									

(令和4年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 14,504冊（蔵書基準冊数10560冊）／ 蔵書率137.3%									
	② 新規購入図書 566冊 / 廃棄図書 326冊 ／増減冊数 400冊増（寄贈本160冊を含む）									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1	1	8	6	10	4	3	6	2	60
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時間と中休みと昼休み（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 76.7冊（前年度末：63.4冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 75.4%（前年度末：84.6%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		① 各クラス月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間100冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況	①全クラス月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ②読書旬間を利用して、75%の児童が年間100冊以上の本を読むことができた。 ③学校図書館オリエンテーションを100%の学級が実施できた。	

第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	達成基準 ① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間100冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況	
①全クラス月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ②読書旬間を利用して、72%の児童が年間100冊以上の本を読むことができた。 ③学校図書館オリエンテーションを100%の学級が実施できた。	
第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	
① 野球に興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	達成基準 ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業で学校図書館を活用する。 ② 読書旬間を利用して年間5000ページ以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が前年度以上
目標達成状況	
①全クラス月2回以上、読書や探究活動授業で学校図書館を活用することができた。 ②読書旬間を利用して、46%の児童が年間5000ページ以上読むことができた。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童が3名で前年度以上だった。	
第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味なかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	達成基準 ① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して年間5000ページ以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が前年度以上。
目標達成状況	
①全クラス月2回以上、読書や探究活動授業で学校図書館を活用することができた。 ②読書旬間を利用して、85%の児童が年間5000ページ以上読むことができた。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童が42名で前年度以上だった。	

第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動で学校図書館を利用する。 ② 年間5000ページ以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が100%。
目標達成状況	
①全クラス月1回以上、読書や探求活動授業で学校図書館を活用することができた。 ②読書旬間を利用して、64%の児童が年間5000ページ以上読むことができた。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童が前年度同様100%だった。	
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動で学校図書館を利用する。 ② 年間5000ページ以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が前年度以上。
目標達成状況	
①全クラス月1回以上、読書や探求活動授業で学校図書館を活用することができた。 ②読書旬間を利用して、63%の児童が年間5000ページ以上読むことができた。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童が36名で前年度以上だった。	
5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果	
取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 十進分類法に基づいた配架に合わせて図書の表示を改善し、図書室配架図を作成する。 ② 蔵書構成基準に基づいて廃棄図書と購入図書の計画を立て、構成割合を改善する。	①図書室と調べ学習室の案内図を作成展示できた。十進分類法に基づいた配架を推進し、適切なラベルでない図書の貼り換えを進めた。 ②適切な廃棄を進めた。蔵書構成の偏りをなくすように購入を進め、割合が少し改善した。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館支援員と連携して、学校図書館オリエンテーションやブックトークを実施する。 ② 学習に必要な図書資料の相談と収集をする。 ③ 学校図書館支援員や図書ボランティアと連携して、読書を推進するような展示をする。	①学校図書館支援員と連携して全クラス年間2回ずつ実施できた。 ②学年の要望に応じて、学習に必要な図書の収集をし、学年に貸し出しができた。 ③学校図書館支援員と図書ボランティアで、月ごとにテーマ性のある展示を工夫し、図書の紹介ができた。

【その他】

- ① 新型コロナウイルス感染症対策で一度に貸し出しできる冊数を2冊から5冊に増やすことを、年間を通して実施する。

①1回の貸し出し冊数は年間を通して5冊にできた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

今年度は、学年からの相談で、学習に必要な本の収集と学年に貸し出しをすることが増え、「一人当たりの貸し出し冊数」は63.4冊から76.7冊となり10冊以上増えた。授業の中での探求活動での貸し出しが増え、学習で学校図書館が活用されることが増えたといえる。蔵書の収集も、古いものは適切に廃棄を進め、学習に必要な本の購入を進めている。しかし、1か月に2冊以上読む児童の割合が減っており、探求学習以外の読書の推進が更に必要である。図書委員会の読書を推進する活動や読書のしおりの活用を通して、「実際に読む時間を増やす」ことや「学習の中で読書を推進する取り組み」が今後も必要である。また図書ボランティアの読み聞かせが昨年は休止されていたが、今年度より毎月実施されるようになった。読書の取組の一つとして来年度も実施を継続する。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

学校評価アンケートによると「子供は、本に興味をもち、よく読書をしている。」という項目の肯定的評価は、昨年度の61.5%から、今年度は63.5%へと2%増加した。